



## 認定NPO法人市民オンブズマンおかやま

編集・発行 光成卓明 事務所 〒700-0933 岡山市北区奥田1-11-20

E-mail: info@ombud-oka.com ホームページ: http://www.ombud-oka.com

### 県会議員の「米国視察報告書」を読んで

能瀬 英太郎

わたしは 2017 年 2 月から入会した新米会員で、まだ当会の様子がよくわからない。入会申し込みの際に「会の活動に尽力したい」とりきんだメールを送ったが、とても自分の力はまだはその域に達していないことを実感させられている。毎月の例会に参加しても、討議の内容を理解するのさえおぼつかないのだ。このままでは「戦力外通告」をうけそうである。

会員の皆さんは別に本業を持ちながら、空いた時間（ばかりではなさそうだが）で、オンブズマンの活動にかかわっている。いわば「手弁当」での無報酬、無私の精神で税金のムダ遣いに監視の目をひからせている。県会議員、市会議員の政務活動費や公費などが、適正に使われていれば、オンブズマンが監視をしなくてすむ。いってみれば議員や公務員の自覚が足りないために、監視を続けないと「なにをしでかすか」わからないからなのだ。

県議も市議も選挙運動中は立派な公約を並べて、有権者に頭を下げてください、議員に当選するや否や特権意識丸出しの行動である。本当は無私の精神で有権者に奉仕をするのは議員の側でありながら、いろいろな名目をつけて、主人である民衆の納めた税金をかすめとろうという魂胆がみえみえである。

このたびオンブズマン新人の目で、県会議員の「海外視察報告書」を読んでこれはひどい、オンブズマンが必要になるはずだと思った。「視察」とは名ばかり、平成 28 年 11 月 1 日から 10 日までの、アメリカ漫遊記？である。結論から先に書けば、小学 6 年生が書いた修学旅行の感想文にも劣るものである。一人当たり 119 万円は県費から支出されたようだが、こんな報告書しか書けないのだからムダ遣いもいいところである。小学生の修学旅行なら、



出発前に行き先きについて学習し、それぞれが特に見たいポイントを書くだらう。いわば「目的意識」を持って、旅行にでかけているわけだ。旅行から帰ったら、感想を書いて文集で発表する点では「報告書」と同じだ。

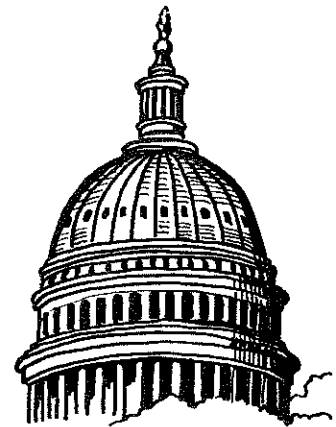
わたしは県会議員を貶めるつもりで、小学生の修学旅行感想文と比較しているわけではない。息子が京都へ修学旅行に行った時の、クラスの作文集が手許にあるので、それを読んで比べているのである。二条城を見学した感想に「ふすま絵やたたみは、ものすごくよごれていた。二条城が出来てから一度もそうじをしてないかと思うくらいよごれていた。」というのもあった。

旅行前の授業で、二条城の歴史などの予備知識を得ていたようだが、実際に見るとそれとのあまりな違いに驚いて書いたことが推測できる。これは旅行案内記では得られない情報である。「さぞキレイだろう」という先入観で見た小学6年生の率直な意見に、観光パンフレットに対する暗黙の批判を感じることができる。感性の鈍った県会議員に、それを求めるほうが無理というなかれ。県民の税金で「視察」に行っているのだから、それ相応の「観光パンフレット」にない視点でもって報告する義務があるはずではないか。

アメリカ合衆国東部の20カ所を視察した11人の報告書中、2人のものを読んだ。小倉弘行議員の「米国視察団報告書」（以下、小倉報告）A4判121枚と、西岡聖貴議員の「海外視察報告書」（以下、西岡報告）61枚の二つだ。小倉報告は西岡報告の二倍の量だが、それと内容の充実度とは比例しない。最初に訪れたのはマサチューセッツ州ボストン市のフリーダムトレイルだ。小倉報告は「アメリカ合衆国」の説明からはいる。全体地図、続いて東部地図、州とボストン市の説明、フリーダムトレイルとは、とくる。観光地16カ所の説明、写真が二頁、最後に「所感と県政への反映について」（以下「所感」）で小倉議員の平凡な感想が述べられている。

はっきりいって、アメリカ合衆国やマサチューセッツ州、ボストン市の説明が必要だろうか。わざわざ説明してもらわなくても、どこからでも手に入れられる。小倉議員自身が認識しているアメリカ合衆国観なら、読んで大いに参考にしたいが、そんなものは持ち合せていないのだから。そう考えれば、彼のやっている説明(?)は報告の水増し以外のなにものでもない。ここで説明されていることは、観光案内の丸写しであると推測される。マサチューセッツ州とボストン市の説明と、フリーダムトレイルの説明は字体が違うのだ。別々の観光案内をコピーしたことが想像できる。このようなレポートは別名「切り貼り細工」とも称される。紙とハサミと糊があれば、勝手に資料から切り取り、貼り合わせて報告書が作れる。

次は玉野市と都市縁組をしているグロスター市の市長を表敬訪問したときの報告だ。市の説明は同市の元副市長経験者と、グロスター漁師の妻の会代表の二人が実名で登場している。これもパンフレットの丸写しのようだが、名前だけは公表している。不思議なことに、この日以後に訪問した場所での説明者、通訳者名は全部黒塗りで隠している。そうすると黒塗りにしている基準が分からなくなる。勘ぐれば「黒塗りの人は本当にいたの？」との疑惑がのこる。



小倉議員の「所感」では次のような意味不明なところがあった。「(略) 私も岡山県の友好提携について議会で質問しましたが、交流がなく形だけの友好提携で花組のある友好提携は積極的にすべきだと考えます。」とあるが「花組」とは一体何なのか理解できない。自分の書いた文章くらい、読み返してみたらどうだろう。そして他人に理解できる内容になっているかどうかくらいは、検証して公開すべきではないか。

3番目の視察先アメリカ議会図書館は資料の丸写しと、12枚の写真でお茶を濁す。「所感」では「アメリカ各地の歴史的人物や先住民の歴史もわかるようにする等、図書館と同様に観光客にも見て貰えることを意識していると感じました。」とあるが、アメリカ・インディアンの歴史が資料にはない。どんな「先住民の歴史」が展示されていて、どのように「わかった」のかは不明だ。小倉議員自身が先住民の歴史に「関心がないこと」が「わかった」のなら、『アメリカ・インディアン悲史』でも読んだら関心が湧くかもしれない。

書けばきりが無いが、小倉報告のもう一つの特徴は、写真の多さである。全部で139枚も使っているが、ほとんどの写真に説明がないので、本当に視察の際のものかどうかと、疑いがのこる。唯一説明があるのは「グラウンドゼロ メモリアルパーク視察」の2枚の写真だけである。これは引用文書をまるごとコピーしたためか。この報告は突然他の文字の倍くらいあるゴシック体が使われている。

国立航空宇宙博物館では「広島に原子爆弾を投下した B-29 (エノラ・ゲイ) は別館に展示されている。」と報告しながら、「所感」では広島長崎の被爆への一言の言及もない。リンカーン記念堂、マーティン・ルーサー・キング祈念碑は観光目的のみで、なんらの感慨をも喚起させなかったようだ。黒人差別については、今からでも往年のベストセラー小説『ルーツ』でも読んだら、認識がより深まると思われる

が、無理な注文だろう。

西岡報告では 85 枚の写真を使用しているが、約 9 割が小倉報告と重複している。ただ在アメリカ大使館黒田淳一郎公使、長野将光参事官、ジェットロニューヨーク事務所若松勇次長等の講義と質問及び回答では両方とも全文同じものを掲載している。他の引用文も読むと同じネタであることは明らかだが、西岡報告は次のように簡単に要約している。煩雑をいとわず両方を書きうつす。

小倉報告では

6:ベンジャミン・フランクリン銅像…ベンジャミン・フランクリンは、アメリカ合衆国の政治家、外交官、著述家、物理学者、気象学者。印刷業で成功を収めた後、政界に進出しアメリカ独立に多大な貢献をした。現在の米 100 ドル紙幣に肖像が描かれている他、ハーフダラー銀貨にも 1963 年まで彼の肖像が使われていました。勤勉性、探究心の強さ、合理主義、社会活動への参加という 18 世紀における近代的人間像を象徴する人物。己を含めて権力の集中を嫌った人間性は、個人崇拜を敬遠するアメリカの国民性を超え、アメリカ合衆国建国の父の一人として讃えられています。『フランクリン自伝』はアメリカのロング・ベストセラーの一つ。キングス・チャペル横の通りは SCHOOL STREET、アメリカ初の公共の小学校” PUBLIC LATIN SCHOOL”があったことに由来しており、この小学校には、“BENJAMIN FRANKLIN” や” SAMUEL ADAMS” らが通っていました。

<参考> ウィキペディア (インターネットフリー百科事典)

ベンジャミン・フランクリン (英語: Benjamin Franklin, グレゴリオ暦 1706 年 1 月 17 日 <ユリウス暦 1705 年 1 月 6 日> [1] - 1790 年 4 月 17 日) は、アメリカ合衆国の政治家、外交官、著述家、物理学者、気象学者。印刷業で成功を収めた後、政界に進出しアメリカ独立に多大な貢献をした。また、凧を用いた実験で、雷が電気であることを明らかにしたことでも知られている [2]。現在の米 100 ドル紙幣に肖像が描かれている他、ハーフダラー銀貨にも 1963 年まで彼の肖像が使われていた。

勤勉性、探究心の強さ、合理主義、社会活動への参加という 18 世紀における近代的人間像を象徴する人物。己を含めて権力の集中を嫌った人間性は、個人崇拜を敬遠するアメリカの国民性を超え、アメリカ合衆国建国の父の一人として讃えられる。『フランクリン自伝』は アメリカのロング・ベストセラーの一つである。

(引用・下線は久野)

それが西岡報告ではこうなる。

#### ○ベンジャミン・フランクリンの銅像

ベンジャミン・フランクリンは、アメリカ合衆国の政治家、外交官、物理学者であり、現在の100ドル紙幣に肖像が描かれている。勤勉性、探究心の強さ、合理主義、社会活動への参加という18世紀における近代的人間像を象徴する人物であり、合衆国建国の父の一人として讃えられている。

西岡報告は10日間で20カ所を視察していながら、「所見」を述べているのが8カ所しかない。それも全部で64行、1カ所平均で8行である。そのお粗末さは、目を覆いたくなるくらいだ。ちなみに「アメリカ議会図書館」についての「所見」を全文引用する。

アメリカ議会図書館について、膨大な図書資料のほかに、地図、新聞、楽譜、写真、映画、ポスターなども保管されており、まさに世界最大の情報センターの役割を果たしており、米国の知の集積にかける強い思いを感じた。

本県にも県立の図書館があり、2015年度の入館者数と個人貸出冊数が、全国の都道府県で1位となったが、引き続き、維持していくためには、予算面、人員面で十分な対応をしていく必要があると考える。

これは「所見」というより資料の丸写しと思える。おそらくこの人は県庁のまん前にある県立図書館にも行ったことがないのだろう。このありきたりさ、平凡さ、紋切り型さ、陳腐さ、月並みさはどうだろう。8「所見」ともそうだから、県民はすくわれない。

県費で10日間も観光旅行ができ、この程度の報告書ですむのだから、議員はやめられないわけだ。昔の映画の題名にひっかけていけば「議員ほどステキな商売はない」とセンセ方は思っているのだろう。



## 平成27年度・28年度岡山県議会議員海外視察のあらまし

### アルゼンチン・ブラジル視察（平成27年8月20日～8月26日）

伊原木知事、小野泰弘県議会議長、職員5人に同行して9人の議員が参加。航空券代ひとり91万円（ビジネスクラス、フランクフルト経由）を使って渡航し、現地に滞在したのはたったの3泊4日。議員歴2期以上の議員は120万円を上限として海外視察への支出が認められており、全員が限度額ぎりぎりを使い切っている。議員の視察費合計は1000万円を超える。目的は式典参加と儀礼。式典で記念品を交換して、食事をして、「交流」をして終わり、を数回繰り返すのみ。写真はふんだんにあるが、報告書がごく簡単なのは、「視察」と言える内容がないためか。

### スイス・スペイン視察（平成28年3月28日～4月5日）

絵に描いたような観光旅行。報告書にはとってつけたような視察目的が詳細に書かれているが、スイス、スペインの観光名所を回ってきたことは、インターネットで訪問地を調べればすぐに分かる。たとえば以下の場所。

ジュネーブ（スイス）

時計博物館、時計工房

ビルバオ（スペイン）

ワイナリー、ピツカヤ橋、グッテンハイム美術館（モダンアート美術館）、サン・マメスタジアム（スペインリーグのアスレティック・ビルバオのホームスタジアム）

ビトリア（スペイン）

サンプルア公園（自然公園）、トラム視察（という名の市内観光、おそらく）

グロニーヨ（スペイン）

ワイナリー

バルセロナ（スペイン）

キャンプノウスタジアム、レアル・クラブ・デ・テニス

大部の報告書があり、太田議員が全員分をとりまとめたとの説明が事務方からあった。個々の議員の報告書はなし。

議員はワイナリー訪問がお気に入りらしい。

なお、当視察には久徳議員と池本議員が途中まで同行し、スペインのビルバオで別れてロンドンに2泊して帰国。両議員とも8月にアルゼンチン・ブラジルで海外視察費の限度額近くを使っており、この旅行費用は政務活動費から支出している。久徳議員758,102円（ビジネスクラスの航空券使用）、池本議員259,350円（エコノミークラスの航空券使用）。

スイス視察（平成28年10月30日～11月5日）

鳥取県の議員と一緒にいった視察。他の視察に比べ、観光色のない比較的まともな内容となっている。報告書も簡単なものながら個々に提出されている。

アメリカ合衆国視察（平成28年11月1日～11月10日）

議員歴2期以上の議員は120万円、1期目の議員は48万円を上限として海外視察への支出が認められており、全員が限度額ぎりぎりを使い切っている。13名の議員が参加し、視察費総額は1400万円を超える。

報告書は個々に提出されているが、そのほとんどは共通した内容で、若干の感想文が添えられている程度。この視察団もワイナリーを訪問。報告書の内容は能瀬さんの感想文に詳しい。

カンボジア・ベトナム視察（平成29年3月20日～3月25日）

3人の議員が参加。報告書がまだ提出されていないので詳細は不明。

以上は開示された海外視察旅費関係の書類と報告書にざっと目を通した上での記録です。今後詳細に検討して幹事会で対応を考えていきます。

(久野千恵)

平成27年度・28年度岡山県議会議員海外視察概要

(集計:久野)

<平成27年度>

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
アルゼンチン(ブエノスアイレス)、 ブラジル(サンパウロ)	アルゼンチンにおける在亜岡山県人会設立50周年及びブラジルへの岡山県民移住105周年の記念式典及び交流事業参加	平成27年8月20日～8月26日 (7日間)	岡崎豊(自民)	1,195,552	写真、資料中心の簡単な報告書あり。個々の議員の報告書なし。
			河本勉(自民)	1,196,571	
			山田総一郎(公明)	1,195,612	議員歴2期以上の議員は120万円を上限として海外視察への支出が認められており、全員が限度額ぎりぎりを使い切っている。  <航空賃> 910,000円 (ビジネス フランクフルト経由)
			井元乾一郎(自民)	1,199,030	
			久徳大輔(自民)	1,197,742	
			蜂谷弘美(自民)	1,194,553	
			池本敏朗(自民)	1,196,130	
			中塚周一(自民)	1,196,916	
			上田勝義(自民)	1,199,087	
			(参加議員合計)	10,771,193	

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
スイス、スペイン	スイスにおいて地域産業である時計産業の振興と地域の発展の関係性についての調査、スペインにおいて都市交通網の整備を通じて環境都市としての復活を遂げたビトリア市の調査、「スマートシティ」の先進事例であるバルセロナ市の調査等	平成28年3月28日～4月5日 (9日間)	天野学(自民)	980,229	報告書あり。太田議員が全員分をまとめた(議会事務局談)。個々の議員の報告書なし。  <航空賃> 小田議員 556,480(ビジネス) 天野・小野・内山・遠藤・大田議員 521,480円(ビジネス) 山本議員 123,480円(エコノミー) (山本議員は1期目)
			小野泰弘(自民)	977,380	
			内山登(自民)	977,972	
			小田圭一(自民)	1,012,713	
			遠藤康洋(自民)	977,713	
			太田正孝(自民)	976,862	
			山本雅彦(自民)	473,233	
			(参加議員合計)	6,376,102	

## &lt;平成28年度&gt;

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
スイス	スイス中山間地域事業視察	平成28年10月30日～11月5日 (7日間)	市村仁(自民)	587,062	個々の議員の報告書あり。  <航空賃> 308,500円(ビジネス)
			小林義明(自民)	611,041	
			(参加議員合計)	1,198,103	

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
アメリカ合衆国	アメリカ合衆国ボストン、ワシントン、ニューヨーク先進事例調査	平成28年11月1日～11月10日 (10日間)	千田博通(自民)	1,149,571	個々の議員の報告書あり。ただし、報告書の大半は共通した文章で、議員の感想文のようなものが視察先ごとに数行から1頁程度添えられている。  議員歴2期以上の議員は120万円、1期目の議員は48万円円を上限として海外視察への支出が認められており、全員が限度額ぎりぎりを使い切っている。  <航空賃> 福島議員以外 727,000円(ビジネス) 福島議員 86,000円(エコノミー) (福島議員は1期目)
			小田春人(自民)	1,185,124	
			住吉良久(民・県)	1,183,163	
			伊藤文夫(自民)	1,152,864	
			蓮岡靖之(自民)	1,150,459	
			波多洋治(自民)	1,148,313	
			西岡聖貴(自民)	1,182,238	
			神宝謙一(自民)	1,182,756	
			加藤浩久(自民)	1,183,163	
			小倉弘行(自民)	1,181,313	
			江本公一(自民)	1,149,238	
			木口京子(無所属)	1,149,645	
			福島恭子(自民)	463,534	
(参加議員合計)	14,461,381				

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
カンボジア、ベトナム	医療技術、農林水産物、人材からみるアジアとの友好関係、経済関係、技術や人材交流について調査	平成29年3月20日～3月25日 (5日間)	小林孝一郎(自民)	229,570	報告書未提出。詳細不明。  <航空賃> 68,200円
			高橋徹(民・県)	253,602	
			中川雅子(民・県)	253,602	
			(参加議員合計)	736,774	



## 2017年度定期総会とオンブズマンアカデミー報告

須藤 暁子

2月25日、きらめきプラザ会議室で開催した「総会とオンブズマンアカデミー」には、例年になく多くの方が参加されました。

いつも残念に思うのは、報告内容は面白く充実しているのに、参加者が限られていることです。そこで今回は一念発起、知り合いに声をかけまくり、「とにかく面白いから、来てみて！ 岡山の政務活動費の使い方ってひどいんだから」「富山の政務活動費はむちゃくちゃだよ」等々…浮き世の温かさもあって、土曜の午後の寛ぎタイムにもかかわらず、大勢の方が足を運んでくださいました。

今回のアカデミーは、「政務活動費のうらじゃ！ー実例山盛りー」と題して、市民オンブズ尼崎世話人の丸尾牧さん（兵庫県議会議員）をお招きし、当会代表幹事の光成卓明さん（弁護士）の司会で、報告と討議を行いました。

丸尾氏は、全国的に号泣で名を馳せた野々村・元県議に関連する本を最近出版されていますが、問題になった出張旅費の切符代の支払証明書（領収書なしで、本人が支払内容を記入する）を実例として示されました。要請陳情活動費として2013年4月に9回、城崎温泉などが含まれていますが、どのような活動をしたのかは一切記入されていません。このように極めて簡単な記述で交通費が支払われているのです。

岡山県議会でも、支払証明書を多用する議員が大勢おり、主に町内会や各種団体などへの顔見せの花代（金一封）と思われる支出が大手を振ってまかり通っています。議員本人が証明しているのだから、領収書がなくてもいいのではないか、信用せよ！と言っているようなものです。

兵庫県議会では、野々村氏の事件がきっかけとなり、政務活動費の見直しが進んでいます。支払証明書は、領収書の出ない



路線バス以外は廃止。領収書は、商品名、数量等内容が明確に分かる場合のみ可。視察費は、観光を除いた視察時間で割り出す…等々。その結果、全議員の返還額合計が6400万円(2013年度)から1億1400万円(2014年度)に倍増し、政務活動費の支給額は月額50万円から45万円に減額されました。

画期的なのは、政務活動費の支払いを前払いから後払い(会派からの精算払い)にしたことと、領収書と会計帳簿をネット公開したことです。

丸尾氏は、後払い精算について、会派から支払うのではチェックが甘くなるので、議会事務局が精算払いするよう改善点を述べています。以前の兵庫県議会や岡山はじめ多くの自治体のように、議員個人への前払い方式では“もらったお金はできるだけ返したくない、何とか使い切ろう”と思うのは、人間の心理として無理からぬこと。会派にしても、仲間内なので同様の心理が働き、議会事務局が担当したとしても、きちんとチェックし議員の先生方にも申すことができるだろうか。後払い方式にしたことはものすごい前進だが、私は仲間内でのチェック機能には限界があると思わざるを得ません。

どうすれば〈改革〉できるのか? 〈実効性〉を持ちうるのか?

“議員に倫理を求めても多分無理”と達観している光成さんが述べているように、せめて、〈裁判所の線〉にまでもっていきたいが、「監視されていて、いい加減なことをしたらひどい目に遭う」という意識を持たないと、変わらない。そのためには、市民が監視するほかはなく、「監視しやすい制度」を作ること。

私も、至極同感!

私たち「市民オンブズマンおかやま」では、何年も何年も、ものすごい手間をかけて岡山市議会と県議会の政務活動費を分析し、監査請求ではらちがあかず、裁判を重ねていますが、皆いささか疲れ果てています。市議会は高裁判決確定の線で、順次、政務活動費の返還がなされていますが、県議会は、まだまだこれからで、せめて〈裁判所の線〉にまでもっていくため、これからも活動の手を緩める訳にはいかないな—と思う昨今…オンブズマン活動に興味があって、エクセルが使える人がいたら、ぜひご参加を!

それはそれとして、議員達が「いい加減なことをしたらひどい目に遭う」という緊張感を持ち続けるには、多くの一般市民の目にさらされるのが一番効果的です。そのためには、「市民が監視しやすい制度」に変えなければなりません。現在の岡山の情報公開制度では、役所の開いている時間に出かけて資料請求し、開示されたらまた受け取りに行き、その上1枚10円の手数料を払わなければなりません。手間と時間とお金がかかり、一般市民がおいそれとはできないシステムになっているのです。

その点で、兵庫県議会の「領収書と会計帳簿のネット公開」は画期的です。いつでも気が向いたときに、見たい人が見て、お金もかかりません。議員にとってこれほど緊張感を与えることはないのではないのでしょうか。当会でも、岡山市議会と県議会に「領収書と帳簿の

HP公開」の陳情をしています。継続審議がいつまで続くやら…全国的に続々と「領収書と帳簿のHP公開」が増えており、岡山県民としてワースト何位の恥はかきたくないものです。

質疑応答では、「議員は政務活動費の使い方について、どう説明を受けているのだろうか」という質問が出され、新人議員の方が参加されていたので、そちらにお鉢が回り「詳しくは説明されていないので、よく分からない。これから勉強します」と初々しく応えてくださいました。

また、昨年のオンブズマン全国大会での〈議員へのアンケート回答〉に面白いものがあり、「国会議員には、秘書や事務所費や文書通信費が保証されているのに、地方議員は政務活動費を問題視され、後援会活動に歳費までつぎ込んでいる。この差をどう考えるのか。こんな状況だから議員のなり手が減り、質の劣化を招いているのではないか。議員活動をどう保証していくのか」という内容についての質問も。こちら、長年国会議員をされていた方が参加されていたので、政務活動費の導入の経緯や、議員活動にかかる費用について、率直に教えてくださいました。

参加者が多士多才で、質疑応答も面白く、いつになく充実したアカデミーになりました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

後半の定期総会は、議事内容に異議はなく、短時間でスムーズに進行しました。

決算報告では、経常収益 528,001 円に対し経常費用 674,930 円で、146,929 円の赤字、次期繰越額が 28,864 円というギリギリの決算になりました。会費収入では不足、寄付金の 326,000 円で何とか賄っている現状には厳しいものがあります。予算も同様に厳しく、寄付金 50 万円で何とか成り立つ予算書になっています。

会員からも心配の声が上がりましたが、今回、会費の振込用紙を同封させていただいておりますので、合わせて、ご無理のない範囲で寄付金もお願いできれば、大変ありがたく存じます。当会は認定 NPO 法人ですので、寄付控除が受けられます。どうぞよろしく願い致します。

総会后、場所を移して懇親会を開きました。こちらにも、丸尾牧さんや近隣オンブズマンの方など大勢参加され、寛いで料理を楽しみながら、具体的な活動の相談やアドバイスなどで大いに盛り上がりました。

## 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

(単位:円)

認定NPO法人市民オンブズマンおかやま 自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日

## 【経常収入】

事業収入	20,000	
正会員会費収入	130,000	
賛助会員会費収入	50,000	
寄付金収入	500,000	
経常収入 計		700,000

## 【事業費】

消耗品費	20,000	
雑費	6,000	
会場費	16,000	
対外交流費	30,000	
開示費	150,000	
訴訟関係費	160,000	
HP関連費	150,000	
事業費 計		532,000

## 【管理費】

会場費	4,000	
通信費	100,000	
消耗品費	5,000	
印刷費	30,000	
雑費	10,000	
管理費 計		149,000
予備費	19,000	19,000
経常支出 計		700,000

当期経常増減額 0

当期正味財産増減額 0

前期繰越正味財産額 28,864

次期繰越正味財産額 28,864